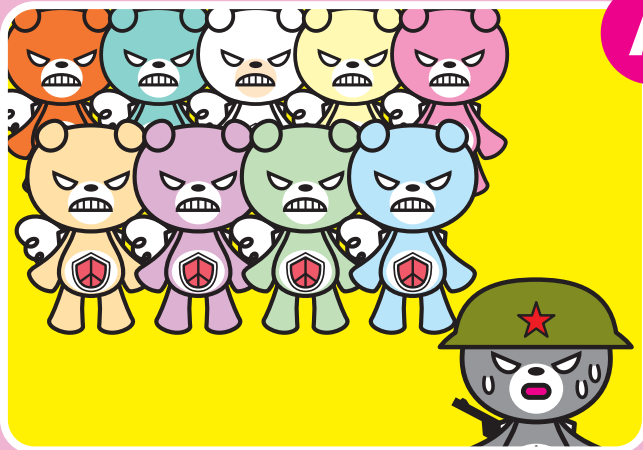


まだ不安ですか？

日本の平和な生活をまもる

安保法制

質問：AとB、どっちが襲われやすいですか？



A

B



答え：こっちですよ

安保法制の核！

A= 集団的自衛権

(先進国ほぼすべて：徴兵制廃止)

- 同盟国と一緒に防衛
 - = 少ない軍備と人員で OK
 - = 徴兵制は **不要**
 - = 軍事費の縮小
- 最小の軍備で最大の抑止力
- 団体プレーなので勝手に戦争できない

なんと！平和のためならこっちじゃん！

反対派が主張！

B= 個別的自衛権

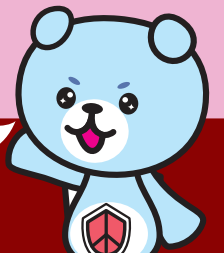
(スイス・北朝鮮：徴兵制実施)

- 自分だけで防衛
 - = 十分な軍備と豊富な人員必要
 - = 人員確保のために **徴兵制**
 - = 膨大な軍事費
- 抑止力を得るために膨大な軍備
- 単独プレーなので勝手に戦争できる

マスコミが言ってんのと逆じゃねーか！



このチラシはまもにちが作りました。
まもにちは政党や政治団体・組合・宗教団体の支援を受けない一般人のグループだよ。



安保法制 あんしん Q&A

戦争に巻き込まれますか？



巻き込まれません。

まず、集団的自衛権を認めたことで戦争になった国はひとつもありません。安保法制の集団的自衛権は『自国の防衛のみ』の制限付きです。後方支援活動はありますが、危険な状況になった場合は退去するようになっており、海外の最前線で戦闘するようなことはありません。



テレビや
反対派が言う
『戦争法案』
なんてウソ!

徴兵制はありますか？



100% ありません。

70年前とは兵器や装備がハイテク化しており、専門のスキルが必要です。徴兵で少しの訓練をしても使いものにならないので徴兵をする意味がありません。また、充分人員は足りており、今後も志願者のみでまかなえます。ほとんどの先進国で徴兵制は廃止されています。



『徴兵制が!』
これもウソ!

個別的自衛権でいいのでは？



ダメです。非常に危険です。

個別的自衛権のみの国は北朝鮮とスイスです。北朝鮮は徴兵制ですし、スイスは「国民皆兵制」で国民全員が兵士となるよう訓練されています。家庭に自動小銃が置いてあるような国です。一国での防衛のために膨大な軍事予算が割り当てられます。また、時の政権の解釈次第で戦争に発展する可能性があるのととても危険です。



こっちの方が
徴兵制!

